

# 桜ずもう特別委員会事業計画

桜ずもう特別委員会 委員長 松浦 大輔

1 第53代横綱琴櫻関の顕彰、青少年の健全育成を目的として開催された櫻杯争奪相撲選  
2 手権大会も今年で40回という歴史を刻みます。これほどの歴史を築けたのも協力してく  
3 ださる方々、そして諸先輩方のこの大会に対する思いが繋がり、この節目の年を迎える事  
4 ができました。だからこそ、この大会の意義・歩みを子どもたちに伝え、また主管となる  
5 我々もこの大会の重要性を感じ、継続開催していく為の体制を整える事が必要です。

6 まずは、開催するにあたっての大会準備経過報告、実施内容等を周知し、一丸となって  
7 大会運営に臨む為の意識共有を図ります。そして、本大会で円滑な運営ができるよう団結  
8 力の向上を図ります。また、相撲という競技を通じて子どもたちに礼式を身に付けてもら  
9 うと共に、人を思いやる心を育む場として第40回櫻杯争奪相撲選手権大会を開催し、こ  
10 の大会を様々な人に支えられ開催していくことができた桜ずもうの歩みと、大会の本源で  
11 もある倉吉市から輩出した横綱琴櫻を礼讃する為の場とします。さらに、入会見込者の方  
12 に大会の運営に携わって頂き、我々の運動を体験し共感を得る事で、共に運動していく仲  
13 間を増やす為の一助とします。そして、各会員が大会準備、運営の過程を振り返り、継続  
14 開催していく為の更なる意欲向上を図ります。また、41回大会を見据えて40回大会の  
15 ワークフロー・イベントを公表し、桜ずもう運営に関する理解度の向上を図ります。

16 相撲という一瞬で勝敗を決する競技において子どもたちに努力することの大切さ、相手  
17 を励まし思いやる心を育む事で、人間性豊かな青年へと成長します。そしてこの長きに渡  
18 り開催されてきた櫻杯争奪相撲選手権大会、この大会の主管となる我々が、この大会に対  
19 する思いをそれぞれ強く持ち続け、倉吉青年会議所の歴史と共にこの大会も歩み続けるこ  
20 とが、将来、再びこの街から横綱を輩出するきっかけとなり、この街の活性化へと繋がっ  
21 てゆくのです。

## 22 <事業計画>

- 24 1. 第40回櫻杯争奪相撲選手権大会の実施
- 25 2. 会員全体の桜ずもう設営に関する理解度の向上となる研修の実施
- 26 3. 例会運営に関する事項